

北海道更別農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和4年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	・各科目における学習および農業クラブ活動を通して、職業人としての資質向上をはかり社会に必要とされる人材育成を行います。	B	・農業クラブ三大事業の取り組みを充実させる。 ・アグリマイスター顕彰制度など資格取得を充実させ、生徒一人ひとりに合った進路実現を目指す。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	・農業高校生海外研修事業をとおして、異なる国の農業や文化に触れ、世界と日本について考えます。	B	・他教科と連携し外国語による表現力を養う。また、世界の多様な農業経営や食文化について学ぶ。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	・地域の生産基盤や環境の特徴を理解し効果的な生産活動に努めます。 ・インターンシップにより職業観を育成するとともに、関係機関と連携し農業にかかわる人材育成を目指します。	B	・GAPに即した作物栽培をとおして担い手としての資質を高める。 ・農業改良普及センターや農業関連産業、地域の農家やOBなど連携を図る。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	・地域の特産品および資源を研究教材としたプロジェクト活動をとおして、食品関連企業等と連携を深めます。	B	・地域の特産品および資源を活かした商品開発をとおして、6次産業化について学習し地域のPRを図る。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	・地域の基幹産業である畑作・畜産の学習をとおして、農業を起因とする環境問題について学びます。 ・圃場の輪作体系を考慮し、緑肥作物を1.0ヘクタール以上の面積で栽培します。	A	・食品ロスやフードマイレージ、バーチャルウォーターについて学習を行う。 ・家畜排泄物を適正処理し、有効活用することによって循環型農業を学ぶ。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	・地域資源を活用した加工品開発と地域イベントへの参加で、地域に貢献する活動を行います。 ・草花栽培をとおした交流学习を3回以上（幼稚園、小学校、高齢者）行います。	A	・地域の特産物である「すもも」や「金時豆」を活用した商品生産を行い、地域イベントに参加し交流を深める。 ・花壇造成の交流学习および村内各地区の花壇苗造成を行う。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	・作物栽培において、ICT技術を活用したスマート農業について学習を行います。	A	・GNSSを活用した自動操舵トラクターで緑肥を栽培し、地力の向上およびスマート農業の実践について学ぶ。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	・新型感染症対策や防災意識を高め、不測の事態に冷静に対応できる態度を育てます。	B	・防災避難訓練を実施し、防災について学習する。 ・ネット環境を活かした緊急連絡体制の確立をする。